

将来の医師確保に取り組む

8/25 地域医療を支える人づくり事業、
中津川市地域医療コースセミナー

中津川市出身の中高生と医学生を対象とした小児科と麻酔科での実習型セミナーを開催しました。皮膚縫合実習・採血実習・気管挿管実習などを行いました。全体での交流会では、中高生が医学生から将来についてのアドバイスを受けるなど、地域医療を支える重要性を学びました。

問 医師確保対策室 (☎66-1251)



人形を使用した気管挿管実習 中津川市民病院

中津川の秋の味覚を収穫体験

9/1 中津川マロンパーク開園

秋限定で、栗拾いを楽しむことができる中津川マロンパークがオープンし、市内外から多くの方が訪れています。

来園者は、熟して地面に落ちた栗のいがから上手に栗を取り出し、秋の味覚の収穫を楽しんでいます。

開園期間は10月6日(日)まで。

問 観光課 (☎内線4273)



手伝ってもらいながら、一生懸命拾います 中津川マロンパーク

認知症になっても安心して暮らせるまちへ

9/2～30 にぎわいプラザ オレンジライトアップ

「世界アルツハイマー月間」に合わせて、認知症への関心を高める取り組みの1つとして、駅前にぎわいプラザをシンボルカラーのオレンジ色にライトアップしました。

認知症は少しでも早い医療機関受診が大切です。認知症についてのご相談は、各地区の地域包括支援センター、在宅介護支援センターへ気軽にお問い合わせください。

問 高齢支援課 (☎内線579)



認知症を理解し、共に歩む社会へ にぎわいプラザ

農地の草刈りや野菜の種まき作業などを体験

9/5～11 明治大学農学部 ファームステイ実習

福岡市内の3つの農事組合法人(はちたか、夏焼、しもの)の指導のもと、明治大学の学生10人が農作業を体験しました。

地元農業者との交流会では、中山間地域の問題点などにも触れ、今回の経験が今後の研究などに生かされることが期待されます。

問 農業振興課 (☎内線269)



地元農業者と種まきを体験 福岡地区

子どもたちの笑顔あふれるイベントに

8/11 与三郎まつりin月の市2024

太鼓やダンスをはじめとする多彩なステージイベントのほか、キッチンカーなど20店舗を超える飲食、雑貨販売ブースがあり、多くの来場者でにぎわいました。

また、隣接する公園には「子どもの遊び場」が設けられ、ゲーム体験やお店屋さんコーナーを楽しむ子どもたちの声が聞こえていました。

問 坂下総合事務所 (☎75-2111)



会場を盛り上げてくれました 道の駅きりら坂下

子どもが主役の夏の風物詩

8/14 ぎおんばジャンボリー

中津地区の各区が提灯行列をする「ぎおんば」初日の夜、皆が一カ所に集まって練り歩きます。

参加した子どもたちは、自分たちで飾り付けた提灯やプラカードを持ち、駅前通りを練り歩きました。

また、今年は中学生ボランティアが企画の段階から関わり、会場をより一層盛り上げてくれました。

問 市民協働課 (☎内線327)



提灯のあかりが幻想的です 駅前通り

国際感覚を養い、個性豊かな人材を育成します

8/16～21 中学生タイ研修

コロナ禍を経て、5年ぶりの開催となった「中学生海外研修」。市内中学生24人を中心とした海外派遣団は、タイのウドンターニ県ドンワイドンクワーン校で現地学生との交流研修を行いました。

ホームステイでは、お風呂やトイレなど日本の文化との違いを体験したほか、食文化交流では、日本料理を振る舞い、タイ料理との食べ比べを楽しみました。

問 生涯学習スポーツ課 (☎内線4308)



ソムタム(タイのサラダ)を作る市内中学生たち タイ



緊張しながらも堂々と発表 市役所

市内の仲間と意見交流

8/20 中津川市中学校生徒会サミット

第10回を迎えた今回は、「魅力ある学校づくり」をテーマに、市内12校の中学校の生徒会役員が参加しました。午前中はグループ別討議、午後からはスライドや動画を使い、各校の取り組みや提案の発表を市長や議員の方々に行いました。参加した第二中学校の内木さんは「魅力ある学校、中津川市をつくっていくために今後も各校で手を取り合いながら活動を進めていきたい。」と話してくれました。

問 学校教育課 (☎内線4231)